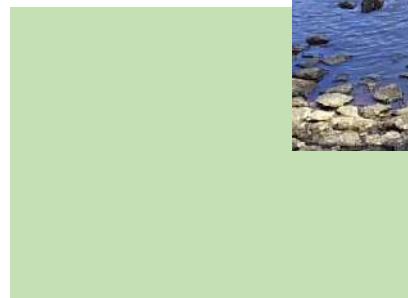
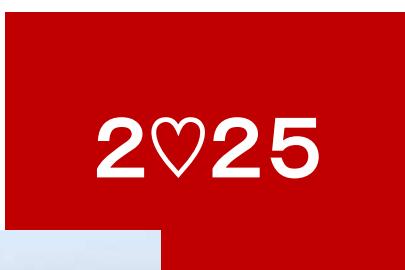


千葉県立都市公園 パーク ガイド



Park Guide of CHIBA

Chiba Prefecture Mascot
CHI-BA+KUN



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん



千葉県立都市公園MAP



- 県立都市公園
- 主な市町村立都市公園



所在都市名	公園名	公園種別	開設面積 (単位:ha)
千葉市	羽衣公園	特殊	0.6
	青葉の森公園	広域	53.7
	幕張海浜公園	広域	68.4
	千葉県総合スポーツセンター	運動	42.7
船橋市	行田公園	総合	11.9
柏市	柏の葉公園	広域	45.0
	手賀沼自然ふれあい緑道	緑道	25.1
八千代市	八千代広域公園	広域	11.3
印西市	印旛沼公園	総合	5.3
	北緑花の丘公園	総合	36.1
流山市	市野谷の森公園	都市林	3.7
山武市	蓮沼海浜公園	レクリエーション 都市	38.3
茂原市	長生の森公園	広域	14.3
富津市	富津公園	広域	97.3
館山市	館山運動公園	運動	25.3

千葉らしさを語る、 15の県立都市公園

県内には現在、3か所の整備中の公園を含め、15か所の県立都市公園があります。

国際都市・幕張に整備された未来型の公園から、九十九里浜に広がる19のプールがそろった海浜公園まで、多様な顔をもつ千葉ならではのラインアップです。

海、そして緑豊かな自然が残る場所で、スポーツをしたり、芸術の鑑賞をしたり、さまざまな活動の拠点となっている県立都市公園を紹介します。

CONTENTS

青葉の森公園 Aoba no mori Park	3
幕張海浜公園 Makuhari Seaside Park	5
柏の葉公園 Kashiwa no ha Park	7
羽衣公園 Hagoromo Park	9
千葉県総合スポーツセンター Chiba Central Sports Center	10
行田公園 Gyoda Park	11
手賀沼自然ふれあい緑道 Teganuma Shizen Fureai Greenway ..	12
印旛沼公園 Inbanuma Park	13
北総花の丘公園 Hokusou Hananooka Park	14
蓮沼海浜公園 Hasunuma Seaside Park	15
長生の森公園 Chosei no mori Park	16
館山運動公園 Tateyama Sports Park	17
富津公園 Futtsu Park	18
八千代広域公園 Yachiyo Park	19
市野谷の森公園 Ichinoya no mori Park	20
都市公園のいまむかし	21
千葉県都市公園年表	23

Aoba no mori Park



青葉の森 公園

●広域公園 ●計画決定面積 53.7ha ●開設面積 53.7ha ●当初開設年月日 S62.4.1
■所在地／千葉市中央区青葉町 ■お問い合わせ／青葉の森公園管理事務所 TEL.043-208-1500

ネイチャー、カルチャー、レジャー 三位一体の多機能公園

青葉の森公園は、千葉市街地に残った自然をそのまま生かし造成された、街の中の緑豊かな公園です。自然鑑賞やレクリエーションの機能だけでなく、文化・スポーツといった機能も整い、それらが有機的に融合し、高いレベルのニーズにこたえた新しいタイプの多機能公園です。

園内はカルチャー・スポーツ・ネイチャー・レクリエーションの4つのゾーンに分かれ、同時にひとつながりになつて、一日ゆっくり楽しめるスペースになっています。

まずカルチャーゾーンから。千葉県の自然や歴史と親しめる中央博物館や生態園、コンサートなどが開かれる芸術文化ホールがあります。また「彫刻の広場」には県内外の著名な作家による作品が展示され、散策をしながらすぐれた芸術にふれることができます。

スポーツゾーンには、陸上競技場、野球場、テニスコート、弓道場があります。

広々とした芝生の上でお弁当を食べたり、遊んだりできるのは、レクリエーションゾーンです。お花見の時期に賑わうおはなみ広場やさくら山、梅園など、折々の花も見どころです。

4つ目はネイチャーゾーン。旧来からの既存林を極力残し、子どもたちが虫採りに駆け回ることができる、はらっぱなどが整備されたゾーンです。

このように青葉の森公園は、カルチャー派、スポーツ派、ネイチャー派、いずれもが満足できる多機能公園です。



▶ 西洋庭園



▶ 水の広場



▶ わんぱく広場





Information ▶ おはなみ広場

■アクセス

京成千原線千葉駅から徒歩10分

●スポーツゾーン

JR千葉駅からバス（2番乗り場）「青葉の森スポーツプラザ」下車／蘇我駅からバス「松ヶ丘十字路」下車

●カルチャーゾーン

JR千葉駅からバス（7番乗り場）「中央博物館」下車／JR千葉駅から（2番乗り場）「ハーモニー・プラザ」下車

●駐車場（有料）

普通583台（身障者用4台含む）／中・大型24台（午前6時～午後10時）

■主な施設

●中央博物館

開館時間：9:00～16:30（入館は16:00まで）／休館日：毎週月曜日（祝日等の場合翌日）、年末年始

※有料 TEL.043-265-3111（中央博物館）

●芸術文化ホール

申し込み受付：9:00～17:00／休館日：毎週月曜日（祝日等の場合は翌日）、年末年始

※有料 TEL.043-266-3511（芸術文化ホール）

●緑の相談所（公園センター）

花や緑、園芸に関する様々な疑問に、緑の相談員がお答えします。また、関連図書コーナー、季節の鉢物等が展示されているコーナー、公園散策のための情報コーナーもあります。開館時間：9:00～17:00（ただし緑の相談は、水・木・土曜日の10:00～12:00、13:00～16:00）／年中無休（緑の相談は年末年始は休み）

※無料 TEL.043-208-1510（緑の相談所）

●スポーツ施設の利用時間

陸上競技場は9:00～18:00（4月～9月）、9:00～17:00（10月～3月）

テニスコートは9:00～21:00

その他は9:00～17:00

休場日：年末年始

※有料 TEL.043-262-8899（スポーツプラザ）

●その他の施設

生態園／彫刻の広場／西洋庭園／おはなみ広場／わんぱく広場／つくしんぼの家／里の森／はらっぱ

COLUMN

公園に文化施設があるということ

やすらぎを提供してくれる場、大切な緑を残す場としての公園の機能に加えて、文化ホールや博物館といった文化施設を併設し、文化交流の場として、活用される公園が増えています。

この青葉の森公園は代表選手。千葉県の自然と歴史をテーマにした“千葉県の立体百科図鑑”といえる「中央博物館」。付属の施設として、「生態園」があり、植物群落や季節の野鳥の観察ができます。

西洋庭園を正面におく「芸術文化ホール」では、コンサートやシンポジウム、ピアノ発表会などが開かれます。また、春と秋の年2回、青葉能の公演も行われるなど、文化活動の場として、広く活用されています。

緑や水にかこまれた、広大な敷地の中にたたずむ博物館やホール。自然と文化が調和したこうした公園は、より豊かな人間生活を営むうえで、今後ますます注目されるでしょう。



Makuhari Seaside Park



幕 張 海 浜 公 園

- 広域公園
- 計画決定面積 71.9ha
- 開設面積 68.4ha
- 当初開設年月日 S62.4.1
- 所在地／千葉市美浜区ひび野
- お問い合わせ／千葉市役所総務課 A～Cブロック（陸側）TEL.043-245-5774
千葉土木事務所 D～Gブロック（海側）TEL.043-242-6101

公園の緑は、新都市のアクセントカラー

21世紀に入り、着々と完成しつつある新都市・幕張。この新都心の中にあって、貴重な緑の確保とともに、国際交流の場としての役割を果たせるよう、グローバルな視野から誕生したのが、幕張海滨公園です。公園内は、海浜幕張駅の北側に位置するAブロックから幕張の浜に面したGブロックまで、個性によって7つのブロックに分かれています。

Aブロック

周囲の学園のまち、タウンセンターと一体となった文化的ブロックです。彫刻が展示された「創作の広場」や、彫刻と樹木に囲まれた歩行空間「彫刻と緑のプロムナード」は、文化と緑の調和が図られたスペースです。

Bブロック

都会で生活する人たちに、ほっと心が和む緑を提供するブロックです。柔らかな起伏を持つ広大な「大芝生広場」を中心に、「にぎわいの広場」や遊具のある「わんぱく広場」が広がり、訪れる人のやすらぎの場となっています。

Cブロック

日本の文化を代表する伝統美あふれる日本庭園「見浜園」を中心になっています。世界と日本文化の交流が図られる、新都心にふさわしいスポットです。

D・Eブロック

D Eブロックのコンセプトである“アウトドアスポーツ・レクリエーション拠点”を目指し、(公財)日本サッカー協会(JFA)により、「JFA夢フィールド」が2020年4月に運用開始されました。「JFA夢フィールド」は日本サッカーの強化拠点として、また、一般利用も可能なサッカー・スポーツの普及の場となる公園施設として、その役割を果たしていきます。

Fブロック

「ZOZOマリンスタジアム」のあるブロックです。このスタジアムは、これまでプロ野球の他、各野球大会や音楽イベントなど幅広く利用されてきました。今後はスタジアム周辺をボーラー化し、野球観戦だけでなく様々な体験を楽しむことができる場の提供を目指していきます。

Gブロック

スポーツと緑が融合するブロックです。多目的利用できる「芝生広場」や、サイクルレジャーが楽しめるマウンテンバイクコースがあります。



► 大芝生広場・花時計



► JFA夢フィールド [JFA提供]





► ZOZOマリンスタジアム（千葉マリンスタジアム）



► 見浜園・茶室（松籟亭）

Information

■アクセス

東関東自動車道、湾岸習志野IC・湾岸千葉ICからそれぞれ車で5分／JR京葉線海浜幕張駅下車 南口から10分／JR総武線幕張本郷駅からバス12分、徒歩5分

●駐車場（有料）

普通1,818台（身障者用13台含む）／大型15台

■主な施設

Aブロック

創作の広場／彫刻と緑のプロムナード／出会いの広場／ふれあいのプロムナード／芝生広場

Bブロック

にぎわいの広場／花時計／大芝生広場／わんぱく広場／健康の広場

Cブロック

日本庭園「見浜園」／茶室「松籟亭」／パークセンター

D・Eブロック

JFA夢フィールド

Fブロック

ZOZOマリンスタジアム

Gブロック

芝生広場／マウンテンバイクコース

COLUMN

日本庭園はおもてなしの 美学に満ちている

茶道の目的は、俗世界の煩わしさを逃れ、ひとときの静寂の境地を味わうこと。

「見浜園」は、そんな茶道の心に満ちた庭園です。薄い銅の板でできた大きな屋根のかかる門を抜け、両側の石積、刈込み垣根の中の石畳を進むと、庭園へと心静かに導かれる…。もうそこからは、忙しい日常から遠く離れた別世界のようです。

庭園は小高い丘と大小の池、そして数々の樹木によって構成されています。池とその周囲を巡る園路を中心にして作庭された池泉回遊式という庭園で、山や川、海、林などが表現され、変化する景観の自然美を満喫することができるようになっています。景観は歩きながら、山間から平野へ、渓流から海へと変化していきます。ところどころに橋が架かり、池の中の出島や中島に渡ることができ、ちょっと疲れたら、眺めのよいあずまやでひと休み、というのもなかなかの風情です。

もっと日本の伝統文化を味わいたいという人には、本格的な茶室「松籟亭（しょうらいてい）」があります。抹茶（和菓子付き・有料）も味わえます。



► 大芝生広場

Kashiwa no ha Park



柏の葉公園

●広域公園 ●計画決定面積 45.0ha ●開設面積 45.0ha ●当初開設年月日 H2.7.20
■所在地／柏市柏の葉 ■お問い合わせ／柏の葉公園管理事務所 TEL.04-7134-2015

緑と上手に暮らすための情報発信拠点

東京のベッドタウンとして、急速な人口増加がみられる東葛飾地区。そのほぼ中央にあって、「健康・文化・みどり」をテーマに、生活にうるおいとやすらぎあたえる場として開設されたのが、ここ柏の葉公園です。

テーマに沿って、園内は大きく2つのゾーンに分かれています。ひとつは、南側の文化ゾーンです。ここでは、豊かな自然とふれあうことができます。「緑の文化」とでもいえるでしょうか。人と自然の調和を考えさせてくれる空間が広がります。

大きな歩幅でゆっくり歩いてみると、木々の葉の色や花の咲くようすに、四季の移ろいが感じられます。

この文化ゾーンの中心部といえるのが、都市緑化植物園です。園内には、日本庭園や西洋庭園といった、趣の違う庭園がいくつかかるほか、季節の花がみられる四季の広場や、1,500株ものバラが咲きほこるバラ園が人気を呼んでいます。

そしてなにより、この植物園の特徴といえるのが、園全体が、緑を生かしたまちづくりや庭づくりの見本園にもなっています。また、緑の相談や、観葉植物などの展示が行われている公園センターがあり、緑と上手に暮らすための情報発信の拠点にもなっています。

もうひとつが、北側に広がる健康スポーツゾーンです。このゾーンには、健康づくりに役立つ各種のスポーツ施設があります。陸上競技だけでなく、フィールド内で高校サッカーの試合等が行われる総合競技場、プロの試合が行われる野球場や夜間利用ができる庭球場。コミュニティ体育館はスポーツ施設だけでなく、会議室や和室も備えているため、文化系サークル活動にも利用されています。



► バラ園



► 日本庭園



► 野球場





► 桜の広場



► 総合競技場

Information

■アクセス

常磐自動車道 柏ICから約2km/JR柏駅西口（2番乗り場）東武バスイースト「国立がん研究センター」行きバスで20分、「柏の葉公園中央」下車、徒歩1分または、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅西口「柏駅西口」または「高田車庫」行きで5分/つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅から徒歩20分

●駐車場（有料） 普通821台（身障者用13台含む）／大型15台
利用時間（第1・第2共通） 7:00～21:15分まで

■主な施設

●スポーツ施設

コミュニティ体育館（アリーナ、トレーニングルームなど）
9:00～21:00 TEL.04-7134-3500

総合競技場 9:00～21:00（共同利用は17時まで）
TEL.04-7135-5012

野球場 9:00～17:00 TEL.04-7132-4607

庭球場 9:00～21:00 TEL.04-7135-5014

●都市緑化植物園（公園センター）

緑の相談所／屋上見本庭園／グリーンルーム／四季の広場／バラ園
開館時間：9:00～17:00

※ 緑の相談時間 水・木・土曜日10:00～16:00

お問い合わせ：公園センター TEL.04-7134-2015

緑の相談所：TEL.04-7134-2016



COLUMN

人と緑をつなぐ 都市緑化植物園

最近、家庭菜園やプランターで季節の花を楽しむ人が増えています。また部屋に観葉植物をおき、緑のアクセントにしている人も少なくありません。

そうした人たちで賑わいを見せているのが、柏の葉公園の都市緑化植物園です。園内をぐるりとひと回りしただけで、四季の花に彩られた庭園の美しさや、緑あふれる空間の清々しさに心うたれでしょう。

それもそのはず、この植物園は都市の緑の生かし方を見せてくれる見本園でもあるのです。広大な庭園ばかりではなく、わが家の庭づくりにも参考になるような、小さな花壇や植木も見られます。

大きなガラス窓がはめられた2階建ての「公園センター」の中に入ると、1階は広々としたロビーになっています。そこには、緑との付き合い方をパネルで分かりやすく解説してくれるギャラリーや、緑に関する本や資料が自由に閲覧できる図書コーナーがあります。



► 公園センター・緑の相談所

●日本庭園「牧が原園」

茶室も利用できる回遊式日本庭園

開館時間：9:00～17:00

※ 茶室「松柏亭」9:00～21:00

TEL.04-7134-2017

●その他の施設

冒險のトリデ／ボート池・貸しボート（有料 3/1～11/30の土休日）

※施設の休館日は毎週火曜日（休日の場合は開館）



Hagoromo Park

羽 衣 公 園

- 特殊公園
- 計画決定面積 0.6ha
- 開設面積 0.6ha
- 当初開設年月日 S41.2.22
- 所在地／千葉市中央区市場町
- お問い合わせ／千葉土木事務所 TEL.043-242-6106

まちなかのベスト・コミュニティ・パーク

昭和40年に戦災復興事業の一環として、旧県庁舎の跡地に開設された公園です。

噴水を中心にイチョウやケヤキなどが植栽され、都市に貴重な緑を提供しています。面積は0.6ヘクタールと小さな公園ですが、朝夕には、散歩やジョギングを楽しむ近所の人の姿が、そして日中には、県庁に訪れる人たちの休む姿が見られるなど、一日中利用者が絶えません。気軽に立ち寄れる、憩いの場となっています。



▶ 噴水池



▶ 羽衣の松



Information

■アクセス

JR内房線・外房線本千葉駅から徒歩5分／千葉都市モノレール「県庁前」駅から徒歩1分、千葉県庁の隣

●駐車場 なし

■主な施設

噴水池／モニュメント／広場／レストコーナー



Chiba Central Sports Center

千葉県総合スポーツセンター

●運動公園 ●計画決定面積 44.0ha ●開設面積 42.6ha ●当初開設年月日 H3.4.1

■所在地／千葉市稻毛区天台町 ■お問い合わせ／総合スポーツセンター TEL.043-290-8501

▶ スポーツ科学センター

汗を流して
心も体もリフレッシュ！

県内はもちろん、全国的な体育大会や国際競技会にも対応できるハイレベルな施設が整っています。昭和48年に開催された第28回国民体育大会（若潮国体）では、夏季・秋季大会のメイン会場に、また、平成22年開催の第65回国民体育大会の陸上競技会場及び閉会式会場となりました。

公式の競技会や練習だけでなく、個人の健康づくりやレクリエーションの場としても幅広く利用できます。

特にスポーツ科学センターでは、健康体力測定を実施しており、個々の体力・目的に応じたトレーニングメニュー等を作成し、運動の仕方をアドバイスします。

センター内には、多種の植物が植えられ、芝生や園地も整備されているので、植物観賞や憩いの場としても親しまれるとともに、幼稚園児や小学児童の自然観察の場となっています。

Information

■アクセス

千葉都市モノレール スポーツセンター駅下車／JR稻毛駅東口から京成バス、草野車庫、こてはし団地行「スポーツセンター」下車

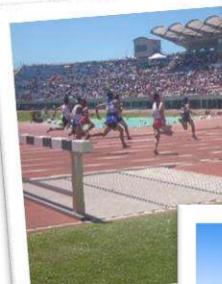
●駐車場

普通1,376台／大型85台（無料）

■主な施設

スポーツ科学センター／陸上競技場／第2陸上競技場／野球場／軟式野球場／ソフトボール場／庭球場／サッカー・ラグビー場／体育館／弓道場／武道館／宿泊研修所

▶ 陸上競技場



▶ 野球場



○施設の利用方法 上記の問い合わせ先に事前に使用申請書を提出します。利用料金は施設によって異なります。

○休業日 月曜日（休日の場合は開所）・年末年始

○施設の無料開放 第2陸上競技場／軟式野球場／ソフトボール場／体育館／第2競技場／武道館／第2道場／庭球場（B8面）／サッカー・ラグビー場

※開放日 第3日曜日、6月15日（県民の日）10月第2月曜日（スポーツの日）

※県民の日・体育の日については、スポーツ科学センター1階トレーニングルーム・4階多目的アリーナについても、無料開放となります。



Gyoda Park



行田公園

- 総合公園 ●計画決定面積 11.9ha ●開設面積 11.9ha ●S52.10.10
- 所在地／船橋市行田 ■お問い合わせ／行田公園管理事務所 TEL.047-430-6229

広場でのびのび、木陰でゆったり

この一帯は、戦前まで旧海軍の無線基地でした。戦後、一時米軍に接収されていましたが、昭和41年に返還され、その後、現在のように整備されました。きれいな円形は無線基地だったころの名残りというわけです。

その円形の中央を南北に広い都市計画道路が走っていて、ちょうど中心点あたりに東西をつなぐ歩道橋が架かっています。この歩道橋が公園の東側と西側をつなぐ役割を果たしています。

公園の東側は、芝生広場を中心に、イベント広場や遊具のあるワンパク広場があります。飛んだり、跳ねたり、走ったりできる、いわば「動的な空間」になっています。

一方西側は、対象的に自然を中心とした「静的な空間」といえるでしょう。水生植物を配した日本庭園や水が流れるカナルがあり、忙しい日常を忘れてゆったりくつろげるスペースになっています。



► カルガモの子育て



Information

■アクセス

JR総武線・武蔵野線・東京メトロ東西線・東葉高速鉄道線 西船橋駅から行田団地行きバス10分、「行田団地」下車、徒歩1分／JR武蔵野線 船橋法典駅から1.5km／京成本線 海神駅から2km／東武野田線 塚田駅から1km
●駐車場 普通47台

■主な施設

イベント広場／芝生広場／ワンパク広場／カナル／サイクリングロード／日本庭園



► 芝生広場（西側）



Teganuma Shizen Fureai Greenway

手賀沼自然ふれあい緑道

- 緑道
- 計画決定面積 32.1ha
- 開設面積 25.1ha
- 当初開設年月日 H15.9.1
- 所在地／柏市北柏橋（柏市柏下）から柏市手賀曙橋（柏市片山新田）
- お問い合わせ／柏土木事務所 TEL.04-7167-1203

ヨシハラを風と巡る 散歩道

手賀沼自然ふれあい緑道は、現在も貴重な自然が残り、身近に自然に親しむ場となっている手賀沼の南岸に、柏市北柏橋から柏ふるさと公園、北千葉第二機場、道の駅しようと等を経由し、柏市手賀曙橋にいたる全長9.4kmの歩道です。

緑道内には、見晴らしデッキ、あずまやなどを設置しています。手賀沼からの風に吹かれてヨシハラを眺めたり、野鳥を観察されてみてはいかがでしょうか。



▶ あじさい



Information



▶ あずまや



▶ コブハクチョウ

■アクセス

JR常磐線北柏駅から南東へ約0.3km
●駐車場 67台（身障者用2台含む）

■主な施設

歩道/休憩施設（あずまや）
/見晴らしデッキ/モニュメント



Inbanuma Park

印旛沼公園

- 総合公園
- 計画決定面積 5.3ha
- 開設面積 5.3ha
- 当初開設年月日 S56.3.31
- 所在地／印西市師戸
- お問い合わせ／印旛土木事務所
- TEL.043-483-1143

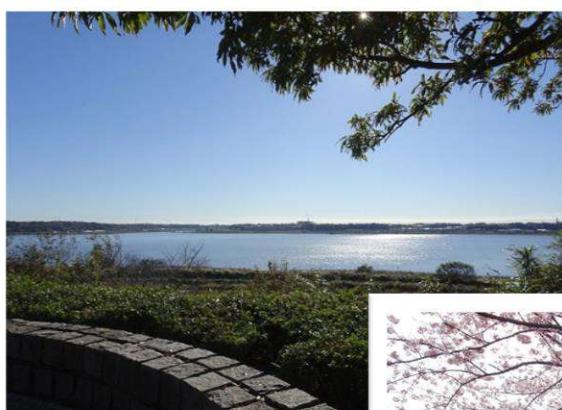
満点の解放感とともに、 印旛沼の大景観に見とれる

千葉県最大の湖沼である印旛沼には、季節に彩られた自然が色濃く残っています。その印旛沼を見下ろす小高い丘に広がるのが、印旛沼公園です。

印旛沼を一望できる展望台が魅力で、沼の周辺を巡るハイキングの途中で多くの人が立ち寄り、その景観を楽しめます。

展望台の周囲には花木園や芝生広場といったオープンスペースがあり、自由広場は野球にも利用されます。

桜の季節には、こうしたオープンスペースがたくさんの花見客で賑わいをみせるほか、梅園を目当てに立ち寄る人も多く、季節の花をゆっくり鑑賞できるのも、この公園の魅力です。



► 展望台からの眺望



► 芝生広場と桜

Information

■アクセス

京成本線 京成臼井駅から「印西牧の原駅南口」行きバスで「印旛沼公園入口」下車又は「日本医大」行きバスで「師戸」下車、徒歩5分

●駐車場

普通30台/身障者用2台

■主な施設

芝生広場/自由広場（軟式野球は使用可）/ちびっこ広場/展望台/梅園/花木園

施設利用申し込み：塙原緑地研究所（指定管理者）

TEL.043-239-9953



COLUMN

▲丘の歴史

公園のほぼ中央にある自由広場。この広場を、子どもの背丈くらいの窪地がぐるりと囲んでいます。実は、この窪地にこそ、印旛沼公園の開設の秘密が隠されているのです。

この周辺は、鎌倉時代、当地の豪族・師戸四郎の居城だったといわれる場所で、印旛沼公園は、城址の保存を目的のひとつとして開設されました。子どもの背丈ほどの窪地は、濠跡というわけです。

空濠だけでなく、本丸や二の丸跡、土壘が残され、城郭の様子を知ることができます。

印旛沼公園はこれらの史跡をできる限り活用した施設配置がされています。

印旛沼周辺には、ほかにも、こうした史跡の保存と活用を目的に開設された公園は少なくありません。少し南に行くと、江戸時代に土井利勝が築城した佐倉城が佐倉城址公園となっています。

また印旛沼の東側の房総風土記の丘には、大小100基を超える龍角寺古墳群が残されています。こうした史跡公園を探訪するのも、印旛沼周辺を歩くひとつの楽しみ方かもしれません。



Hokusou Hananooka Park



北 総 花 の 丘 公 園

- 総合公園
- 計画決定面積 50.0ha
- 開設面積 36.1ha
- 当初開設年月日 H12.4.28
- 所在地／印西市原山
- お問い合わせ／北総花の丘公園管理事務所 TEL.0476-47-4030

都市と田園が共生する文化創造拠点

北総花の丘公園は、都市の便利さと自然豊かな花・緑・水・空気を五感で感じ、「安らぎ」「憩い」の場として、家族や友達との楽しい時間を共有できる公園です。

広い空間を活かした体験参加型のイベントや、情報・文化・コミュニティの発信地として、また災害時には、広域避難場所としての役割も担っています。

公園は5つのゾーンにわかれています。Bゾーンには、講習室・多目的室、緑の相談所が利用できる花と緑の文化館があります。

また、Eゾーンには、自然生態園やドッグラン（登録制）・バーベキュー場（予約制）があり、四季折々の自然を楽しむことができます。



▶ 花と緑の文化館

Information

■アクセス

北総線 千葉ニュータウン中央駅南口から徒歩10分。またはレインボーバスで「北総花の丘公園」下車徒歩1分。Eゾーンご利用の場合には「電話局」下車徒歩8分。

●駐車場（有料）Bゾーン：250台（身障者用2台、大型車2台含む）Eゾーン：155台（身障者用3台、大型車4台含む）

■主な施設

●花と緑の文化館

開館時間：9:00～17:00／休館日：無休 0476-47-4030（代）

●講習室及び多目的室：園芸やアレンジメント教室からクラフト教室などの、さまざまなサークル活動に利用できます。

利用時間：9:00～17:00

申込方法：電話又は管理事務所窓口

●その他の施設

展示室：無料、直接申請
緑の相談所：毎週木・金・土曜日 10:00～12:00、13:00～16:00（開所日はお問い合わせ下さい）

図書コーナー：花と緑に関する蔵書や雑誌があり、植物図鑑や園芸に関する図書を閲覧できます。
芝生広場、ガーデンイベント広場、ルーラルガーデン、駐車場



▶ 自然生態園



Hasunuma Seaside Park



蓮 沼 海 浜 公 園

- レクリエーション都市
- 計画決定面積 170.1ha
- 開設面積 38.3ha
- 当初開設年月日 S50.7.1
- 所在地／山武市蓮沼
- お問い合わせ／蓮沼海浜公園管理事務所 TEL.0475-86-3171
- HP:<http://www.hasunuma.co.jp>

南北四キロ 九十九里浜に隣接する大公園

海が好きな人におすすめの公園と言えば、ここ蓮沼海浜公園です。防風林の向こう側は九十九里浜、もちろんその向こうは太平洋。マリンリゾート地としては絶好の環境です。

夏には、流れるプールや波のプールなどが楽しめるウォーターガーデンが人気。ホテル「蓮沼ガーデンハウススマリーノ」やログハウスなどの宿泊施設も利用できます。

テニスコートや野球場、遊園地、公益社団法人日本パークゴルフ協会公認コースのパークゴルフ場もそろっているので、一年中スポーツやレジャーを満喫できます。

また、園内のあちらこちらで見られる季節の花や樹木も見どころ。そのほかにも、広場や池、展望塔など、魅力いっぱいのレジャーパークです。



▶ スプラッシュシェイカー
(蓮沼ウォーターガーデン)



▶ パークゴルフ場

▶ ミニトレイン

Information

■ アクセス

JR千葉駅からJR総武本線八日市場駅回り「松尾」駅下車、空港シャトルバス「JR松尾駅南」より乗車→「蓮沼海浜公園第一駐車場前」下車、またはタクシー20分／京葉道路・東関東自動車道→千葉東JCT（千葉東金道路）→東金JCT（圏央道）→松尾・横芝IC→蓮沼海浜公園
●駐車場 1,102台（身障者用18台含む）

● テニスコート

ナイターあり20面、有料

● パークゴルフ場

全36ホール、有料

● その他の施設

スポーツ広場／展望塔／子供の広場（ゴーカート、変り種自転車等）

／いこいの広場／野球場／水の広場



■ 主な施設

● ウォーターガーデン
タイプのちがう19のプール、スライダーからなるウォーターランド。夏期のみオープン、有料。TEL.0475-86-3171

● 宿泊施設

ホテル蓮沼ガーデンハウススマリーノ（和室・ログハウス）

※ 会議室・研修室・小体育館あり TEL.0475-86-2511



Chosei no mori Park



長生の森公園

●広域公園 ●計画決定面積 48.2ha ●開設面積 14.3ha ●当初開設年月日 H14.7.1
■所在地／茂原市押日 ■お問い合わせ／長生の森公園管理事務所 TEL.0475-26-2474

「人間・スポーツ・環境」をテーマに

長生の森公園は、茂原市街から北西に2.5kmはなれた丘陵地にあります。

この公園は、自然の地形や豊かな緑を保全しながら、野球場等のスポーツ施設や広場・散策路を配し、あふれる自然の中、スポーツ・レクリエーション、自然散策を満喫できる公園として整備を進めています。

現在開園している区域には、センター122m、両翼98m、収容人数9,000人を誇る本格的な野球場をはじめ、テニスコート8面と多目的に利用できるゲートボール場6面、多目的広場があり、老若男女全ての人々が楽しめる公園となっています。

► ゲートボール場



► 野球場

Information

■ アクセス

JR外房線茂原駅東口11番から「緑ヶ丘リゾーン行き」南口2番から「ロングウッドステーション・労災病院・長柄中下行き」バスで14分、「郡界橋停留所」下車、徒歩10分／国道128号から約2km、主要地方道千葉茂原線から市道3級4023号沿い、茂原長柄スマートICから約3km

■ 駐車場

普通192台（身障者用4台含む）

※大型大会開催時など、臨時駐車場開設により約1000台駐車可

■ 主な施設

●野球場：センター122メートル、両翼98メートルの広さで、メインスタンド、内野スタンドを兼ね備えた本格的な野球場です。

●テニスコート：8面 砂入り人工芝コート

●ゲートボール場：6面 天然芝

利用時間 9:00～17:00

休場日：年中無休

※有料 TEL.0475-26-2474

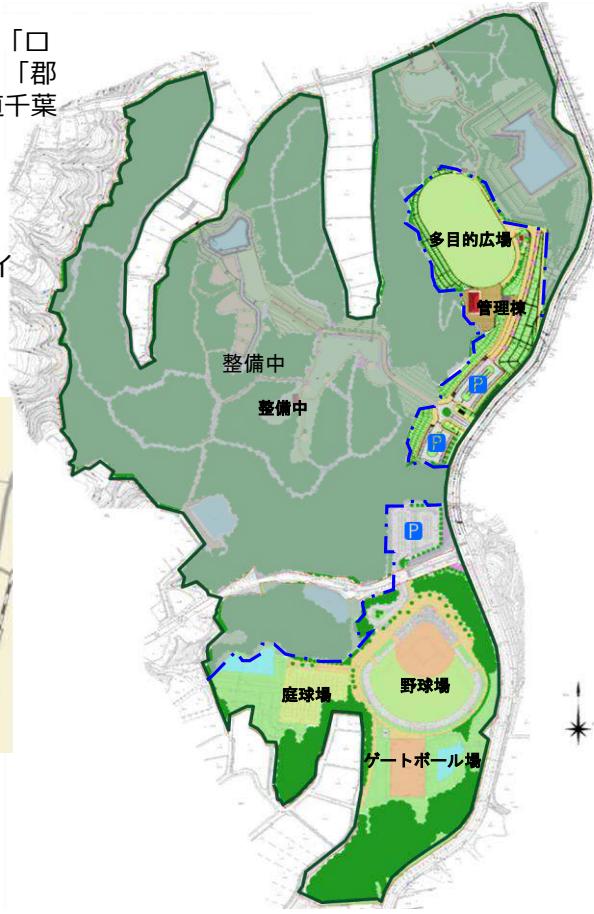
（管理事務所）

申し込み：長生の森公園管理事務所

TEL.0475-26-2474



► テニスコート



Tateyama Sports Park



館 山 運 動 公 園

- 運動公園
- 計画決定面積 25.4ha
- 開設面積 25.3ha
- 当初開設年月日 S59.11.1
- 所在地／館山市藤原
- お問い合わせ／館山運動公園管理事務所 TEL.0470-28-1340

降り注ぐ日差しの中で 思いっきりスポーツ三昧

県南部地域のスポーツの中心地、館山運動公園は、南房総・館山市の市街から南方約5キロの高台にあります。

緑深い照葉樹林に囲まれた園内には、各種の運動施設がそろい、太陽と水と緑のスポーツ広場として、地域の人たちばかりでなく県外の人たちにも親しまれています。

屋外の施設だけではなく、多目的に利用できる体育館も魅力で、アリーナでは、バスケットボールやバレー、ボールだけでなく、テニスやフットサル、体操競技など各種の屋内競技に活用できます。

スポーツのほかにも、児童の遊び場や芝生の広場、森の遊歩道などがあり、今も色濃く残る南房総の自然とふれあうことができます。



► 多目的体育館とテニスコート

Information

■アクセス

JR内房線館山駅から「安房神戸経由白浜行き」バス15分、「館山運動公園前」下車、徒歩5分

●駐車場 普通196台（身障者用2台含む）

■主な施設

●屋外運動施設

野球場／テニスコート（9面・砂入り人工芝コート）／少年野球場／多目的運動場（専用使用の場合）※有料

●多目的体育館

アリーナ（バスケットボール・バレー・ボール・テニス・バドミントン・ハンドボール・フットサル・体操競技・卓球に利用可）／トレーニングルーム／ランニングコース（1周210m）／観客席（固定席880席）／研修会議室（2室）

開場時間：9:00～21:00

年未年始は休業

※有料 TEL.0470-28-1340

（公園管理事務所）

●その他の施設

遊戯広場／プロムナード／芝生広場／遊歩道／エントランス広場



► 体育館内アリーナ



Futtsu Park



富津公園

- 広域公園
- 計画決定面積 108.3ha
- 開設面積 97.3ha
- 当初開設年月日 S41.2.22
- 所在地／富津市富津
- お問い合わせ／富津公園管理事務所 TEL.0439-87-8887

東京湾に突き出た、緑の半島が遊び場所

富津公園は、東京湾に突き出た半島状の砂州、富津岬の先端にあり、広い緑地にジャンボプールやテニスコートなどが整備された公園です。

半島の最先端にある明治百年記念展望塔に立つと、東京湾をはさんで三浦半島が眼下に見渡せ、さらに向こうには遠く富士山も眺望できます。

また、夏季期間には潮風にふかれながら楽しめるジャンボプールがあり、5つの違うタイプのプールが楽しめます。競泳、水球にも対応できる温水プールも整備され、年間を通してウォーター・パークの役割を果たしています。

コンサートや各種イベントに利用できる野外劇場や、子どもたちが野外活動を楽しむキャンプ場もあります。



▶ 明治百年記念展望塔



▶ ジャンボプール

Information

■アクセス

JR内房線青堀駅から「富津公園行き」バス15分「富津公園」下車、徒歩5分

●駐車場 551台（身障者用12台含む）/大型21台

■主な施設

●ジャンボプール

造波プール／ちびっこプール／スライダープール／流水プール／競泳プール（50m・9コース）※夏期のみオープン、有料。

●屋内温水プール

25mプール／直径10mの円形児童プール／トレーニングルームやサウナ室も利用可 ※有料
休館日：毎週月曜日・年末年始
開場時間：9:00～21:00

●テニスコート

8面・全天候・人工芝コート
申し込み：富津市観光協会
TEL.0439-87-2565

●キャンプ場

申し込み：富津市観光協会
TEL.0439-87-2565 ※夏期のみオープン
●その他の施設

多目的運動広場／野外劇場／明治百年記念展望塔／樹林広場



▶ 展望塔からの眺望（富士山と第一海堡）



Yachiyo Park

八千代広域公園

- 広域公園
- 都市計画決定 53.4ha
- 開設面積 11.3ha
- 当初開設年月日 H25.4.5
- 所在地／八千代市

水辺とスポーツ・情報文化とのふれあい

本公園は、印旛放水路（新川）周辺地域の豊かな緑と水辺に恵まれた田園的な環境を保全し、県民に水辺のレクリエーションの場を提供するものとして「水辺とスポーツ・情報文化とのふれあい」をテーマに都市計画決定されています。平成22年度から整備を進め、平成28年度にはトイレや園地の一部を供用開始しました。その他の施設についても整備を進めています。

また、開設区域内には、八千代市総合グラウンド、八千代市立中央図書館・八千代市市民ギャラリーが設置され、平成25年4月5日より、都市公園として供用開始しています。

▶ 総合グラウンド



▶ 芝生広場



▶ 中央図書館



Information

■ アクセス

東葉高速鉄道村上駅から徒歩15分

●駐車場（有料） 普通260台（身障者用6台含む）／大型車1台

■ 主な施設

遊歩道／広場／駐車場



Ichinoya no mori Park

市野谷の森公園

- 都市林
- 都市計画決定 18.5ha
- 開設面積 3.7ha
- 当初開設年月日 R4.3.31
- 所在地／流山市市野谷・三輪野山
- お問い合わせ／柏土木事務所 TEL.04-7167-1203

いきものたちと時間をすごすまちの森

現況の良好な自然環境を適正な管理により維持しつつ、多様な自然との触れ合いの場の創出する公園として整備を進めています。

現在開設している区域は、修景池、多目的広場、駐車場があります。残りの区域も開設に向け整備を進めています。

Information

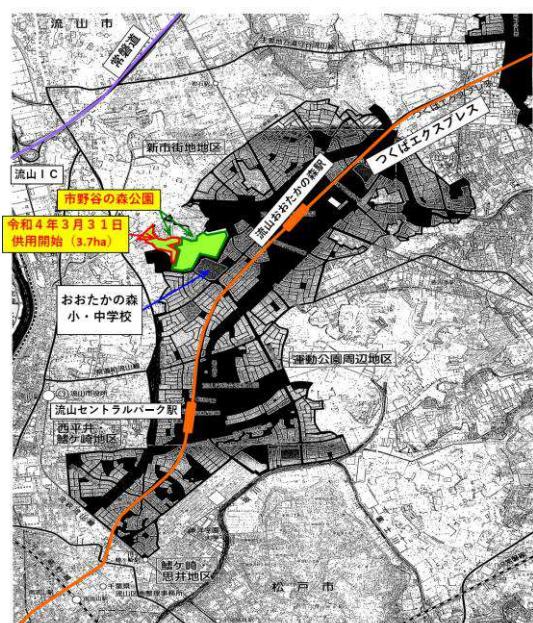
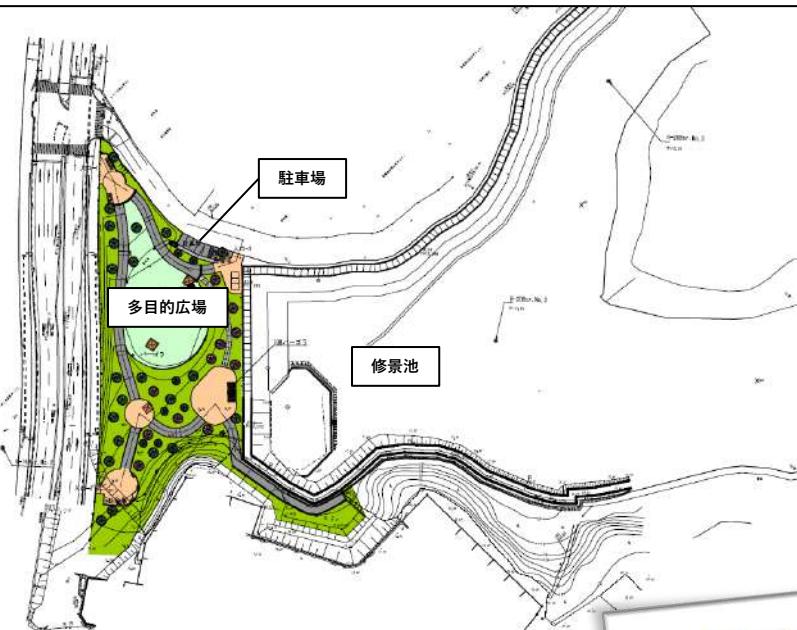
■アクセス

つくばエクスプレス・東部野田線「流山おおたかの森」から徒歩約10分

●駐車場 普通6台

■主な施設

修景池、多目的広場、駐車場





だじょうかんふたつ

都市公園の始まり(明治6年 太政官布達16号)

日本における「都市公園」の始まりは、明治6年（1873年）の太政官布達16号（当時の法律）とされています。

太政官布達では、昔からの景勝地（金龍山浅草寺や東叡山寛永寺等）などの多くの人が集まる場所は「公園」とするので、各府県は国に申し出ることとされました。これにより上野公園や芝公園などが現在にも残る公園となっています。

しかし、太政官布達では管理等の面に関する内容が不十分であったことから、公園の統一的な設置管理を行うため、昭和31年に「都市公園法」が制定されることとなります。

公園箇所図

明治と関わりがある公園として6つの公園を紹介します。

- ①鋸山公園 ②羽衣公園 ③富津公園
- ④行田公園 ⑤戸定が丘歴史公園 ⑥青葉の森公園



①千葉県初の公園（鋸山公園・富津市及び鋸南町）

千葉県最初の公園は、太政官布達発令と同じ明治6年（1873年）に遡り、現在の富津市と鋸南町にまたがる鋸山における「鋸山公園」と言われています。（写真1・2）



写真1 日本寺松風閣 大正7年～12年頃撮影



写真2 日本寺松風閣跡地 現在
※現在は取壊し済み

②初めての県立公園（羽衣公園・千葉市）

初めての県立公園は、「羽衣公園」の起源として明治7年（1874年）に設置された「火除地（ひよけち）」に遡ります。「火除地」は延焼防止等を目的とした空地であり、明治7年に焼失した千葉県庁舎を再建する際に設けられた土地です。この火除地は、誰でも出入りができたことから、多くの人が集まり公園的利用がされていました。この公園は県庁舎の建替に伴い場所を替え、シンボルであった「羽衣の松」を由来とした「羽衣公園」として昭和40年に現在の場所に開設されました。（写真3・4）



写真3 羽衣公園 明治42年～大正6年頃撮影
※写真中央に写る松が羽衣の松

都市公園のいまむかし【2】～明治から現代へ～



ふつこうえん

③軍用地から公園へ1（富津公園・富津市）

富津市の富津岬周辺には、明治時代から軍用地がありました。第二次世界大戦後は県が跡地を利用し、「富津公園」を昭和35年に開設しました。

また、富津公園は、昭和42年に国によって明治100年を記念した「明治百年記念公園事業」全国10箇所のうちの一つに指定され、五葉松の形をした記念塔（明治百年記念展望塔）が建設されました。（写真5）



④軍用地から公園へ2（行田公園・船橋市）

大正4年（1915年）に船橋市に設置された船橋海軍無線電信所は、戦後接收した米軍から昭和41年に返還されました。その後、県が跡地を利用して「行田公園」を昭和52年に開設しました。（写真6・7）



⑤徳川家の庭園から公園へ（戸定が丘歴史公園・松戸市）

国の重要文化財である「戸定邸」は、元水戸藩主徳川昭武（あきたけ）が明治17年（1884年）に松戸市の戸定が丘に建てた私邸で、昭和26年に松戸市に寄贈後、公民館等として活用されていました。その後、創建当時に復原され、平成3年に「戸定が丘歴史公園」として開設されました。（写真8・9）



⑥畜産試験場から公園へ（青葉の森公園・千葉市）

明治時代の千葉市青葉町周辺は種畜場でしたが、大正時代には農林水産省畜産試験場となりました。その後、試験場がつくば市に移転したことから県が跡地を利用し、「青葉の森公園」を昭和61年に開設しました。（写真10・11）



千葉県内の都市公園（現代）

明治初期の太政官布達における公園では「遊観（ゆうかん、遊び歩いて見物すること）」を公園の機能としていましたが、時代の変遷によって多様な機能が追加されていき、現在では緑とオープンスペースの効用として、4つの機能に大別されています。

- (1) (環境保全) 人と自然が共生する都市環境の形成
- (2) (景観形成) 生物の多様性を育み、四季の変化が織りなす美しい潤いのある景観の形成
- (3) (防災) 災害防止、災害時の避難地等の拠点としての機能により都市の防災性、安全性の確保の寄与
- (4) (レクリエーション) 都市住民の教養・文化活動等の余暇活動や健康増進活動を支える場の提供

令和4年12月末現在、供用済みの千葉県内の都市公園は、約7,500箇所、面積約4,400haに及んでおり、県民の憩いの場として親しまれ、都市で生活していく上で、極めて重要な社会資本の一つとなっています。

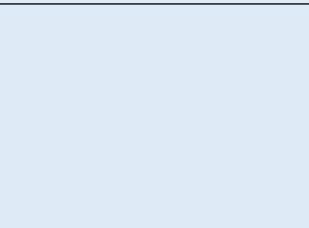
千葉県都市公園年表



西暦	元号	月	日	県内の事項	概要	国内の事項
1873	明治6	1	15	鋸山公園(鋸南町)を地盤国有公園として開設		大政官布達
1874		7		県庁裏公園(現羽衣公園)開設		
1914	大正3	4		朝日森公園(天津小湊町清澄山)を地盤国有公園として開設		
1931	昭和6	4	1			国立公園法公布
1933		8	12	22		
			6	27	羽衣公園を都市計画決定	
					羽衣公園	
1948		23	7	10		
					富津公園	
1951		26	10	11	富津公園を都市計画決定	
1956		31	4	20		建設省発足
1959		33	6	9	富津公園の旧軍用地を無償貸付受ける	
1960		35	4	1		都市公園法公布
1965		40	4	28	県庁公園を改修し、羽衣公園として開設	
				10	23	千葉県スポーツセンターを都市計画決定
					千葉県総合スポーツセンター	
1966		41	2	22	富津公園を県立都市公園として開設	
1971		46	10	5	行田公園を都市計画決定	
				12	28	九十九里レクリエーション都市、蓮沼海浜公園を都市計画決定
					行田公園	
1973		48	7	1	富津公園ジャンボプール開園	
1975		50	2	25	印旛沼公園を都市計画決定	
				7	1	蓮沼海浜公園を県立都市公園として開設(ウォーターガーデン開園)
					印旛沼公園	
1977		52	10	10	行田公園を県立都市公園として開設	
1978		53	9	16	館山運動公園を都市計画決定	
1980		55	5	19	国有財産中央審議会で農林省畜産試験場跡地を公園(青葉の森)にする旨答申	
1981		56	3	31	印旛沼公園を県立都市公園として開設	
1981		56	11	20	幕張海浜公園を都市計画決定	
					幕張海浜公園	

千葉県都市公園年表



西暦	元号	月	日	県内の事項	概要	国内の事項
1982	57	7	23	青葉の森公園を都市計画決定		
1984	59	11	1	1館山運動公園を県立都市公園として開設	H3.8.20全部開設	 青葉の森公園
1985	60	8	16	柏の葉公園を都市計画決定		
1986	61	12	23	北総花の丘公園を都市計画決定		
1987	62	4	1	幕張海浜公園を県立都市公園として開設		
	62	4	1	青葉の森公園を県立都市公園として開設	H9.4.1全部開設	 柏の葉公園
1990	平成2	7	20	柏の葉公園を県立都市公園として開設		
1991	3	4	1	千葉県総合スポーツセンターを県立都市公園として開設		 長生の森公園
1993	5	3	19	長生の森公園を都市計画決定		
1995	7	3	22	八千代広域公園を都市計画決定		
	8	25		全国都市緑化フェア実施(～10/22まで) 県立幕張海浜公園、市立稻毛海浜公園		 北総花の丘公園
	9	30		全国都市緑化祭(県立幕張海浜公園)		
1997	9	12		千葉県公園緑地の将来像(千葉県広域緑地計画)の策定		
1998	10	4	28	手賀沼自然ふれあい緑道を都市計画決定		 手賀沼自然ふれあい緑道
2000	12	1	28	市野谷の森公園を都市計画決定		
	4	28		北総花の丘公園を県立都市公園として開設		
2002	14	7	1	長生の森公園を県立都市公園として開設		 八千代広域公園
2003	15	9	1	手賀沼自然ふれあい緑道を県立都市公園として開設		
2006	18	4	1	111県立都市公園の管理を指定管理者に移行		
2013	25	4	5	八千代広域公園を県立都市公園として開設		
2016	28	6	12	全国「みどりの愛護」のつどい実施(柏の葉公園)		
2020	令和2	4	1	八千代広域公園の管理を指定管理者に移行		 市野谷の森公園
2022	4	3	31	市野谷の森公園を県立都市公園として開設		
2023	5	1	15	都市公園制度制定150周年		
		3		富津公園及び蓮沼海浜公園の再整備基本方針の策定		



► 「羽衣公園」から見た千葉県庁

編集／千葉県国土整備部都市整備局公園緑地課

発行／令和7年 月

県立都市公園ガイドマップ（千葉県ホームページ）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kouen/toshikouen/guidemap/index.html>

